

# 鎖の大陸 (1963)

LE SHIAVE ESISTONO ANCORA

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 イタリア

色彩 Color

初公開日 1964/10/25

公開情報 ヘラルド

## 【解説】

現代に残る奴隷制度を追い、インド、中近東、アフリカにロケしたドキュメンタリー。中近東、インドをR・マレノッティが、アフリカをF・クイリチが担当した。映画は、作家サマセット・モームの弟だというイギリスの国会議員、ロビン・モームのインタビューから始まる。彼は奴隷制度の悲惨さを議会に訴えている人物で、奴隷制度がなくなることはないのは「奴隷制が広く存在する地域には石油があるからだ」と言う。この発言を引き出しに映画はアラブへと飛び、石油成り金のアラブの族長たちの生活とそ  
の下で働かされる奴隷の姿や、この映画で最大の話題となった鎖でつながれた奴隷の首を切り落とす  
ショックシーンをストップモーションで映し出す。続いてカメラはアフリカへと飛び、去勢されたうえ  
でハーレムの番人として売られる黒人や、大勢の黒人女性に鎖をつけて連れ歩く奴隷商人などを描き、  
インドのボンベイでは、貧民窟の惨状をルポしている。

## 【クレジット】

監督	フォルコ・クイリチ	Folco Quilici
	ロベルト・マレノッティ	Roberto Malenotti
撮影	アルド・ナシンベン・スカルペルニ	
	アルド・トンティ	Aldo Tonti
	アダルベルト・アルベルティーニ	Adalberto Albertini